

名和小学校が完成

平成18年4月に着工した名和小学校新校舎が完成しました。3月11日には見学会、20日に卒業式が行われました。

昨年4月に名和地区の3つの

小学校（名和、光徳、庄内）が統合し、名和小学校となりました。

平成18年度は統合新校舎の建設のために旧名和小学校が取り壊され、児童は、東校舎（旧光徳小）、西校舎（旧庄内小）に分かれて通学していました。

旧名和小学校跡地に新校舎が完成し、3月11日の見学会は、保護者など約500人が訪れました。見学者は、「壁が移動して教室の大きさが変わるなんてすごい」「廊下がビカビカで広い」と感想を話していました。

新校舎の特徴

①普通教室を南側に配置し、2階の教室から大山を望めるよう

にしました。

②北側に、校長室・保健室・特別教室を配置しました。

③学校全体が、中庭を中心として一体感をもてるようにしました。

④各普通教室の前に学年スペースを設け、小グループなどの多様な学習が可能となるスペースを確保しました。

⑤学習用としてハイブリッド発電塔（風力と太陽光で発電します）を設置しました。

⑥外観は、周辺住宅地となじむ様に瓦屋根としました。

⑦多目的階段教室（ふれあいホール）を設けました。